

2026 年度定時総会 次第

(公社) 日本火災学会

日時 2026 年 5 月 27 日 (水) 13:30～14:30

会場 電子会議 (MS Teams)

- | | |
|---|----------|
| 1. 開会宣言 | 総務理事 |
| 2. あいさつ | 会 長 |
| 3. 議 事 | |
| 議案第 1 号 2025 年度 (令和 7 年度) 事業報告 | 総務理事 |
| 議案第 2 号 2025 年度 (令和 7 年度) 収支決算報告
および監査報告 | 会計理事 |
| 議案第 3 号 2026 年度 (令和 8 年度) 事業計画 | 総務理事 |
| 議案第 4 号 2026 年度 (令和 8 年度) 予算計画 | 会計理事 |
| 議案第 5 号 学会賞選考委員会の報告 | 委員長(副会長) |
| 4. 議事録署名者の選出 | 議 長 |
| 5. 閉会宣言 | 総務理事 |

2025 年度事業報告書

2026 年 5 月 27 日

公益社団法人日本火災学会

2025 年度事業報告

公益社団法人 日本火災学会

1. 事業の状況

火災に関する科学および技術の研究について、その促進および交流をはかるため、2025 年度は研究発表会、講演会、セミナーを開催し、火災誌及び論文集の発行を行い、優れた研究以下の方針に基づき各種の事業を実施した。

会員数の減少による会費収入の減少、諸物価及び経費の上昇による支出の増加により、悪化しつつある財務状況を改善するため、事務作業と情報システムの大幅な見直しを進めた。特に、郵送の廃止、振込手数料の削減を実施した。一方、新しいホームページを通じて、社会の関心を集めた火災事例等に関して、学会の既存研究の成果や専門家の情報発信に努め、また、各専門委員会の活動を通じて、学術の振興を図るとともに、火災による被害の軽減を目指す活動を推進した。

(1) 研究発表会、講演会、セミナー

1) 研究発表会

完全に対面実施として、2025 年 5 月 24 日、25 日に研究発表会を開催した。A, B, C, D の 4 会場に分かれて研究発表が行われた。QR コード受付を導入したことで混雑が低減された。研究発表会概要集は PDF ダウンロードにより発行した。

開催年月日	会 場	発表項目・発表件数			参加人員
2025 年 5 月 24 日 5 月 25 日	豊橋技術科学大学 (愛知県豊橋市天 伯町雲雀ヶ丘 1- 1)	ア. 火災性状	56	イ. 消火・消防	24
		ウ. 耐火	20	エ. 避難	18
		オ. O S	4	カ. ポスターセッション	23
				発表件数合計	
			145		

2) 講演討論会

講演討論会を次の通り開催した。

開催年月日	会 場	参加人員	主 題・基調講演
2026 年 1 月 23 日	オンライン開 催	116 名	主題：「大船渡の林野火災と消火に関する調査」 第 1 部講演 1) 突発科研費による調査研究 2) 大船渡の林野火災概要（突発科研費調査） 3) 現地の消防活動の詳細 4) 火災研究・防災メーカーによる現地調査報告 5) 林野火災の消火戦略、基礎研究の現状と課題 第 2 部質疑討論

3) 火災科学セミナー

火災科学セミナーを次のとおり関東、関西の2会場で開催した。

開催 年月日	会 場	参加人員	協力機関	主 題・テーマ
2025 年 11 月 13 日	千葉市文化センター3階「アートホール」 (千葉県千葉市中央区中央2-5-1)	279 名	千葉市 消防局	主題：岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を受けた災害への備え テーマ： 1) 日本国内の林野火災の生起状況と水文学的な特徴 2) 林野火災・広域火災からの避難行動と災害情報 3) 林野火災対策としての森林管理の考え方
2025 年 11 月 28 日	ウィルあいち4階「ウィルホール」(愛知県名古屋市東区上堅杉町1番地)	188 名	名古屋市 消防局	主題：大規模イベント及び外国人来訪者等が利用する施設における「避難」について テーマ： 1) 大規模集会施設の避難安全 2) 大阪・関西万博における火災予防の取り組みについて 3) セントレアにおける防火・防災について

(2) 火災に関する調査および研究

学術委員会の下に7つの専門委員会を設置し活動を行った。

委員会名	構 成	活 動 概 要
化学火災 専門委員会	(主査) 中村順 (幹事) 板垣晴彦 他委員 10 名	第1回：7月15日, 第2回：11月6日, 第3回：3月17日 研究発表会 OS「最近のバイオマスによる火災について」の企画・実施 本専門委員会は、消防、警察、労働、産業の事故調査の専門家で構成されており、委員会活動により事故調査技術の向上を図り、各種事故の未然防止に役立てていくことを目的として、2025年度は委員会を3回開催した。 委員会では下記に示すような各種の化学火災・爆発事故事例について、事故原因と事故シナリオ、および、防止対策などの検討を行った。 (1) 天然ガスのパイプライン用トンネルでの爆発では、メタ

		ンの湧出地域であり岩盤中から突出したメタンが掘削機械の摩擦火花により着火したらしいと報告された。 (2) 核燃料施設でのナトリウムの発火，工業技術研究機関での過酸化アセトンの生成，住宅地でのアセチレンボンベの爆発などについて検討を行った。温度変化や経時による化学物質の変化が事故の原因になることがある。 (3) ビル建設現場での仮設 H 鋼の撤去作業中の火災が建設用材料の難燃性の試験方法の改正のきっかけになったこと，クロロブレンモノマー製造施設での配管の破裂では，30 年前の海外事例が活かされていなかったことが報告された。このほか，塩素系ガスの漏洩事故などについて討議を行った。 本学会の研究発表会において，OS「最近のバイオマスによる火災について」を企画し，本委員会の 3 名と一般からの 1 名が講演と総合討論を行った。
火災ガス毒性 専門委員会	(主査) 成瀬友宏 (幹事) 若月 薫 他委員 9 名	2025 年度は，2026 年度の研究発表会での活動報告に向けて，火災ガス毒性に関連した研究内容でポスターを作成した。
避難行動 専門委員会	(主査) 峯岸良和 (幹事) 榎本満帆 他委員 11 名	第 1 回：7 月 16 日，第 2 回：10 月 8 日， 第 3 回：12 月 12 日，第 4 回：2 月 9 日， 第 5 回：4 月 24 日 本委員会は，建築物における安全な避難計画の立案の基礎となる計画概念，技術基盤，基礎データ，評価方法，基礎知見の整備および公表を行うことを目指す。本年度は対面とオンラインを併用して 5 回会合を持った。 活動内容を以下に記す。 (1) 建物の大規模化や複雑化を考慮した避難戦略の立案に向け，建築避難設計・建物管理者・消防の 3 者の視点での避難計画に関する情報交換を行い，議論した。特に消防隊と避難者の交錯を回避する観点から，階段利用制限や追加の階段の設置，エレベーター活用可能性について議論した。避難の効率化に向けて，非常放送設備による誘導に着目し，現行の鳴動方式の課題整理と放送設備の高度利用の可能性について議論した。関連して，誘導灯の視認性やデジタルサイネージを活用した避難誘導方法についても意見交換を行った。 (2) 災害弱者の避難行動特性や，避難中の疲労や心理に関する課題の整理に向けて，特別支援学校での避難訓練，避難訓

		練コンサート，低速度歩行者混在下での階段内での群集流等について情報共有し議論した。 (3) この他，「避難戦略」の定義について委員会内でのアンケートを通じた認識の共有，グレンフェル・タワー火災と英国の Stay put 戦略を踏まえた，日本の避難戦略の現状の把握，VR を用いた既往の避難実験の整理について議論した。
新燃料・電動モビリティ火災専門委員会	(主査) 田村陽介 (幹事) 山崎浩嗣 他委員 13 名	第 1 回：6 月 10 日，第 2 回：8 月 21 日， 第 3 回：10 月 23 日，第 4 回：12 月 17 日， 第 5 回：2 月 18 日 近年の自動車の形態の多様化を反映し，専門委員会の名称を「自動車火災専門委員会」から「新燃料・電動モビリティ火災専門委員会」に変更した。 2025 年度は上記日程により委員会を開催し，以下の自動車火災に関わる活動を実施した。 (1) 脱炭素燃料として注目されているバイオエタノールを対象に，国内外における開発・利用状況の動向，国内外の安全対策に関する実態や指針，燃料性状および課題ならびに消火方法や現行保安設備の適用性について，文献調査を行い，情報共有した。 (2) 電動モビリティについては，バッテリー火災への対応技術としてルノーグループが開発した「ファイヤーマンアクセス」，ファイヤースラッシュ使用時のリスクおよび事故電動車両の保管に対する有用性，トンネル内火災による課題などについて調査・検討した。また，大阪市で発生した電気自動車火災を事例として，事故後処理に関わる課題の抽出を行った。 (3) 委員会の普及活動として，脱炭素燃料や電動モビリティを考慮した道路環境に応じた課題を抽出するため，道路管理者に対して EV および FCV 火災に関する安全性をテーマとした話題提供を行い，道路管理者の立場から見た今後の課題を整理・抽出した。
地震火災専門委員会	(主査) 北後明彦 (幹事) 大津暢人 他委員 13 名	第 1 回：4 月 21 日，第 2 回：6 月 4 日， 第 3 回：7 月 28 日，第 4 回：9 月 29 日， 第 5 回：11 月 27 日，第 6 回：1 月 29 日， 現地調査： ・令和 7 年 2 月 26 日に発生した大船渡市林野火災で発生し

		た市街地火災の現地調査を実施 ・令和 7 年 11 月 18 日に発生した大分県大分市佐賀関大規模火災の現地調査を実施 勉強会： ・京都大学防災研究所特定准教授の峠嘉哉氏を招き、大船渡市林野火災を中心に林野火災に関する勉強会を実施 本専門委員会では、地震や風水害など自然災害に伴い発生する火災の被害低減を目的として、関連する火災事例について調査し、被害状況等の把握・データベース化等を行っている。2025 年度の主な活動内容を以下に示す。 (1) これまでに調査した地震火災・風水害など自然災害に起因する火災に関するデータベース作成に向け、収集した情報を整理した。 (2) 令和 6 年能登半島地震において発生した輪島市大規模火災発生時の住民行動を把握するため令和 6 年 12 月に実施したアンケート調査の分析を前年度に引き続き実施している。 (3) 令和 7 年 2 月 26 日に発生した大船渡市林野火災で発生した市街地火災の現地調査を実施した。当該火災についても避難行動アンケート調査の実施を予定している。 (4) 令和 7 年 11 月 18 日に発生した大分県大分市佐賀関大規模火災の現地調査を実施した。 (5) 京都大学防災研究所特定准教授峠嘉哉氏を招いて、大船渡市林野火災を中心に林野火災について学ぶ勉強会を行った。
文化財建造物 防災専門委員会	(主査)長谷見雄二 (幹事)土屋伸一 他委員 9 名	講師派遣： ・兵庫県、東京建築士会等からの講師派遣の要請を受けて、文化財管理者・建築設計者を主な対象とする対面式オンライン併用の防災講習を実施 (1) 例年建築士会等からの要請により、ヘリテージマネージャーの防災講習等に講師を派遣している。今期は兵庫県、東京建築士会等の要請により、文化財管理者・建築設計者を主な対象とする対面式オンライン併用の講習を行った。 (2) 編纂した「文化財建造物の火災対策指針とその解説」の改訂に向けた検討を行った。 (3) 文化財建造物の防火対策上極めて重要な初動対応の確立を目的として、自主防災管理体制検証法に関する意見交換

		を行った。
消火戦略に関する専門委員会	(主査)中村祐二 (幹事) 廣田光智 他委員 14 名	第 1 回：2025 年 8 月 1 日，第 2 回：12 月 15 日（オンライン） 研究会：2025 年 10 月 31 日（@室蘭工業大学） 講演討論会（企画・実施を担当）：2026 年 1 月 23 日（オンライン） 火災現場視察 第 1 回：2025 年 5 月 14 日～15 日（大船渡）， 第 2 回：2025 年 12 月 1 日～3 日（今治） 2025 年度は上記の日程で 2 回の委員会をオンライン形式で開催，1 回の研究会を対面形式で開催，さらに 2 回の火災現場視察を行い，これをもとに講演討論会「大船渡の林野火災と消火に関する調査」を企画・実施した（詳細は，講演討論会の項を参照）。 第 1 回委員会：大船渡の火災現場視察に関して報告がされた。1 月の講演討論会，次年度の研究発表会での企画を立案，検討した。「消火戦略」の原点を見直す意味でも，多くの討論がされた。 研究会：室蘭工業大学の博士後期課程 1 年小笠原日向子氏の研究発表を聴講し，この話題提供をもとに大船渡などの火災においてみられた斜面を有する林野の火災性状に関して議論した。また，1 月の講演討論会の具体的な内容と講演者の決定，パネルディスカッションにおける議論のキーワードなどが検討された。 第 2 回委員会：横浜国立大学の小柴佑介先生に話題提供いただき，「分散系消火剤の研究変遷と初期消火に係る意思決定研究」に関して聴講および討論を行った。また 12 月 1 日～3 日行われた今治の火災調査および石油備蓄基地（菊間基地）の視察に関して報告がされた。 講演討論会の企画・実施：2 回にわたる大船渡火災の現場視察に基づき，講演討論会として，7 名のパネリストによる話題提供と討論を企画・実施した。

(3) 会誌その他火災に関する図書の刊行

1) 学会誌「火災」

会誌「火災」を次の通り刊行した。

巻	号	ページ数	特 集 記 事 等	発行部数
Vol. 75	No.2	64 ページ	一般消費者向けガスの保安技術の現状	1,400 部
同上	No.3	64 ページ	火災に関わる国際標準化の動向	同上
同上	No.4	63 ページ	2050 年カーボンニュートラルを見据えた新燃料	同上
同上	No.5	64 ページ	地下街の防災対策	同上
同上	No.6	64 ページ	大船渡林野火災	同上
Vol. 76	No.1	64 ページ	会誌「火災」発刊 400 号記念 グレンフェル・タワー火災から得られた教訓	同上
合 計	6 巻	383 ページ		

2) 論文集

論文集を次の通り刊行した。

巻	号	ページ数	論 文 名	発行部数
Vol.75	No.1	8 ページ	1) 静電誘導帯電方式による帯電噴霧を用いた消火消煙効果に関する実験	オンラインのみ
同上	No.2	10 ページ 9 ページ	2) 耐火電線用小型加熱炉の炉内温度と熱流の予測 1) 図書館の閉架書庫における避難時の経路選択行動モデルの検討	同上
同上	No.3	12 ページ 7 ページ 7 ページ	2) 音響トモグラフィ法による火災場温度計測の可能性検討 1) プロパン／空気予混合気の消炎距離測定における平行平板寸法の影響 2) 木質繊維/プラスチック複合材料の酸化雰囲気下における熱分解反応の競合に関する検討	同上
合 計	3 号	53 ページ		

(4) 優れた研究または技術業績に対する表彰

以下の各賞について表彰を行った。

1) 日本火災学会賞

火災科学・技術に優れた業績を挙げた研究・技術者を顕彰するものである。2025 年 5 月 24 日付けで、2025 年度の日本火災学会賞を成瀬友宏君に授与した。なお、2025 年 5 月 24 日の日本火災学会研究発表会において授与式と記念講演を実施した。

2026 年度の日本火災学会賞は、2026 年 1 月 27 日の学会賞選考委員会において佐野友紀君が選考され、2026 年 2 月 19 日の理事会に諮り、授与することを決定した。

受賞者氏名	対象業績題目
佐野 友紀	実測調査に基づく災害時要援護者を含む避難行動モデルおよびシミュレーションを用いた避難安全に関する一連の研究

2) 日本火災学会内田奨励賞

独創性と将来性に富む新進の研究者を顕彰するものである。2025 年 5 月 24 日付けで、2025 年度の日本火災学会内田奨励賞を新屋一馬君に授与した。なお、2025 年 5 月 24 日の日本火災学会研究発表会において授与式を実施した。

2026 年度の日本火災学会内田奨励賞は、2026 年 1 月 27 日の学会賞選考委員会において小宮祐人君、藤井皓介君、山崎拓也君が選考され、2026 年 2 月 19 日の理事会に諮り、授与することを決定した。

受賞者氏名	対象業績題目
小宮 祐人	壁面内装の表面材厚さと下地材が着火性・発熱性・燃え広がり性および室の燃焼拡大性状に及ぼす影響に関する研究
藤井 皓介	大規模施設の避難安全に関する実証的研究
山崎 拓也	木質繊維/プラスチック複合材料の熱分解特性が燃焼挙動に及ぼす影響

3) 日本火災学会功労賞

当会の運営、会務などに顕著な功労があった会員を顕彰するものである。今年度は授与なしであった。

4) 日本火災学会学生奨励賞

若手研究者の育成を目指し、優秀な研究発表を行った学生を顕彰するものである。2025 年度の学生奨励賞は、27 編の応募に対し、学生奨励賞選考委員会により選考された、内田 喜晴君、河合 剛毅君、下野 輝生君、林 真杜君、藤島 陸生君、Pichayaporn Viriya-amornkij 君の 6 名に対し学生奨励賞を授与した。

5) 日本火災学会技術賞

近年適用された優れた技術の確立に貢献した者を顕彰するものである。2025 年 5 月 24 日付けで、2025 年度の日本火災学会技術賞を崔光石君、長田裕生君、宮林善也君、鈴木輝夫君と、竹市尚広君、新谷佑介君、北野信吾君、田邊大君に授与した。

2026 年度の日本火災学会技術賞は、2026 年 4 月 8 日の学会賞選考委員会において西川厚君、雨宮智浩君、大宮喜文君、石川大樹君と、楡木孝史君、飯野浩輔君、横田博之君、嶋田知弘君が選考され、2026 年 4 月 20 日の理事会に諮り、授与することを決定した。

受賞者氏名	技術名称
西川 厚 雨宮 智浩 大宮 喜文 石川 大樹	消防隊員の教育訓練に特化したVR 消防教育訓練シミュレーションシステム
楡木 孝史 飯野 浩輔 横田 博之 嶋田 知弘	ドローンを活用した煙感知器の加煙試験器

6) 日本火災学会業績賞

火災安全の進展や普及に大きく貢献する近年の活動を実施した者を顕彰するものである。

2025 年 5 月 24 付けで、2025 年度の日本火災学会業績賞を、東京理科大学の水野雅之君、総務省消防庁消防大学校消防研究センターの藤井皓介君、東北学院大学の門倉博之君、佐野友紀君に授与されました。今年度は授与なしであった。

(5) 研究助成

優れた火災科学・技術の研究の促進を図るため、研究助成金を交付するものである。2025 年度の内田博士研究助成金交付は対象者なしであった。次年度はホームページや会員向けメール配信等を通じて、募集の周知徹底を図る。

(6) 内外の関係機関等との連携および協力

一般社団法人防災学術連携体に参加し、火災・避難安全対策面からの提言について検討した。SFPE（防火技術者協会）日本支部と協賛し、シンポジウムなどを通じて、諸外国の防火技術者との国際交流を図った。安全工学シンポジウム及び燃焼シンポジウムなどの団体が行う事業の協賛又は後援を行った。

(7) その他この法人目的を達成するために必要な事業

本会の活動内容をホームページなどによる情報発信を進めた。特に、大阪・道頓堀火災（2025.8）、香港・高層共同住宅火災（2025.9）、佐賀関大規模火災（2025.11）、青森東方沖地震（2025.12）、多発する林野火災、モバイルバッテリーによる火災などの発生時には、本会の専門性を生かし、被害軽減に寄与する情報発信を行った。

2. 庶務の概要

1) 会員の異動状況

会員種別	2025 年 4 月 1 日現在	2026 年 4 月 1 日現在	増 減
名誉会員	12 名	13 名	+1 名

正会員	1,050 名	1,101 名	+51 名
賛助会員 (口数)	93 団体 (120 口)	94 団体 (118 口)	+1 団体 (-2 口)

2) 役員に関する事項

2026 年 3 月 31 日現在

役職名	氏 名	常勤・ 非常勤 の別	就任年月日	年間給与 (千円)	担当職務	所 属
会 長	萩原一郎	非常勤	2023.5.30	なし	法 人 代 表	東京理科大学
副会長	鈴木正太郎	非常勤	2025.5.24	〃	会長補佐	長岡技術科学大学
常務理事	野竹宏彰	非常勤	2023.5.30	〃	総 務	清水建設(株) 技術研究所
常務理事	村田眞志	非常勤	同上	〃	会 計	能美防災(株)
常務理事	中野孝雄	非常勤	同上	〃	企 画	東京消防庁
常務理事	秋月有紀	非常勤	同上	〃	学 術	富山大学
常務理事	岡本勝弘	非常勤	2025.5.24	〃	刊 行	警察庁科学警察研究所
常務理事	伊勢村修隆	非常勤	2023.5.30	〃	普 及	東京消防庁
理 事	尾川義雄	非常勤	同上	〃	企画・普及	消防庁消防研究センター
理 事	抱 憲誓	非常勤	2025.5.24	〃	総 務	鹿島建設(株) 技術研究所
理 事	喜多洋樹	非常勤	同上	〃	総 務	東京消防庁
理 事	小柴佑介	非常勤	2023.5.30	〃	学 術	横浜国立大学
理 事	小宮祐人	非常勤	2025.5.24	〃	刊 行	(一財)日本建築総合試験所
理 事	鈴木恵子	非常勤	2023.5.30	〃	学 術	消防庁消防研究センター
理 事	出口嘉一	非常勤	同上	〃	企 画	国土技術政策総合研究所
理 事	鳥飼宏之	非常勤	2025.5.24	〃	学 術	弘前大学
理 事	西尾悠平	非常勤	同上	〃	普 及	(研)建築研究所
理 事	松島至俊	非常勤	同上	〃	総 務	(株)モリタホールディングス
理 事	茂木俊夫	非常勤	同上	〃	総 務	東京大学
理 事	八島正明	非常勤	同上	〃	刊 行	(独)労働安全衛生総合研究所
監 事	江幡弘道	非常勤	2023.5.30	なし	監 事	ホーチキ(株)開発研究所
監 事	山田常圭	非常勤	同上	〃	〃	元消防研究センター
監 事	吉野 徹	非常勤	2025.5.24	〃	〃	損害保険料率算出機構

3) 職員に関する事項

2026 年 3 月 31 日現在

事務局長	荻野 恭久	2019.4.1～2025.5.31	学会事務の総括	常 勤
(同上)	谷内 幸久	2025.4.1	(同上)	常 勤
パート事務員	渡邊英美子	2004.4.1	庶務・会員事務	非常勤

4) 役員会などの開催状況

a. 理事会

理事会は、会議方式は臨時理事会と第 389 回は対面、それ以外はリモートによる会議とし、計 5 回開催した。開催日、議事・報告事項は次表のとおりである。

開催日	議事・報告事項	会議結果
2025 年 4 月 24 日 第 386 回理 事会	1. 会員異動報告および会計報告 2. 総会、事業報告及び収支決算について（総務委員会） 3. 名誉会員の推薦について 4. 会員管理システムの導入状況など（情報委員会） 5. 研究発表会についての報告（学術委員会）	報告 承認 承認 報告 報告
2025 年 5 月 25 日 臨時理事会	1. 会長（代表理事）及び副会長の選出 2. 常務理事の選出	選出 承認
2025 年 10 月 1 日 第 387 回	1. 会員異動報告および会計報告 2. その他の委員会の委員の選任 3. 研究発表会の収支決算（学術委員会） 4. 組織規程、企画委員会規程、顕彰及び助成に関する規程の改正について 5. 技術賞及び業績賞選考委員会規程及び取扱要領の改正について 6. 情報機器関連機器の見直しについて（情報委員会） 7. 研究発表会の計画について（学術委員会） 8. 会誌の寄贈先の見直しについて（刊行委員会） 9. 火災科学セミナーの計画について（普及委員会）	報告 承認 報告 承認 承認 報告 報告 報告 報告
2025 年 12 月 2 日 第 388 回	1. 会員異動報告および会計報告 2. 学術委員会規程の改正について（企画委員会） 3. 講演討論会及び研究発表会の計画について（学術委員会） 4. 情報公開審査委員会の委員の選任 5. 情報機器関連機器の見直しについて（情報委員会） 6. 火災科学セミナーの開催報告（普及委員会）	報告 承認 報告 承認 報告 報告
2026 年 2 月 19 日 第 389 回	1. 会員異動報告および会計報告 2. 学会賞、内田奨励賞、技術賞、業績賞の選定 3. 2026 年度事業計画及び収支予算について（総務委員会） 4. 役員選挙について 5. 研究発表会の計画について（学術委員会） 6. 火災科学セミナーの開催報告（普及委員会）	報告 承認 承認 報告 報告 報告

b. 常務理事会

常務理事会は、会議方式は主にリモートによる会議とし、2025 年 4 月 14 日、7 月 15 日、11 月 17 日、2026 年 1 月 29 日、4 月 2 日の 5 回開催した。

c. 総会の開催状況

総会は 2025 年 5 月 24 日、研究発表会の開催期間中に豊橋技術科学大学で開催した。

開催日	議事・報告事項	会議結果
2025 年 5 月 24 日	1. 定足数についての報告 2. 2024 年度(令和 6 年度)事業報告 3. 2024 年度(令和 6 年度)収支決算報告および監査報告 4. 役員候補者承認の件 5. 名誉会員称号の授与者の件 5. 定時総会議事録の署名捺印者の選出 6. 2025 年度(令和 7 年度)事業計画 7. 2025 年度（令和 7 年度）予算計画 8. 学会賞選考委員会の報告	報告 承認 承認 承認 承認 選出 報告 報告 報告

5) 常置委員会の開催状況

a. 総務委員会

- イ) 2025 年度（令和 7 年度）定時総会の委任状を取り纏め、総会を対面で実施した。
- ロ) 公益社団法人として、顧問税理士を通じ、経理事務の適正な執行に努め、各種事業を推進した。また、経費削減につなげるために支出項目の確認と見直しを行った。財政健全化に向けて引き続き支出項目の点検を継続する。
- ハ) 賛助会員がメリットを感じられる特典並びに正会員の減少防止対策について議論し、理事会に報告した。
- ニ) 8 月に女子中高生夏の学校に対面参加し、女子中高生に火災に関する最新の研究・技術、ならびに産官学における女性の活躍を紹介した。
- ホ) 名誉会員の推薦に関する検討を実施した。
- ヘ) 総務省消防庁の優良消防庁設備等表彰への上申に関する検討を行った。
- ト) 学会賞・技術賞・業績賞・内田奨励賞の応募促進に関する検討・対応を実施した。
- フ) 新事務局長の就任に伴い、事務局業務の棚卸に向けた状況把握を実施中である。

b. 情報委員会

- イ) 学会ホームページによる情報発信を強化するため、コンテンツの見直しを行うとともに、組織的な対応を行うホームページ管理運営小委員会を設置した。
- ロ) 新たな会員管理システムの運用を 2025 年 4 月から開始した。しかし、会員管理に必要なメールアドレスの未登録者が少なからず存在するため、収集作業を恵贈

して進めた。

- ハ) 既存の情報関連システムなどを見直し、不要な契約を解約するなどして、経費の節減を行った。

c. 企画委員会

- イ) 過年度に行った規定及び要領の改正について修正漏れの確認を行った。

d. 学術委員会

- イ) 2025 年度研究発表会を準備、開催した。PDF ダウンロード版の概要集を発行した。
- ロ) 講演討論会を計画、立案、準備、開催した。
- ハ) 委員会傘下の 7 の専門委員会の運用を行い、活発な委員会活動を推進した。
- ニ) 2026 年度の研究発表会を計画、立案し、発表募集活動を実施した。

e. 刊行委員会

- イ) 定期刊行物である会誌「火災」及び論文集を編集し、出版した。
- ロ) 「日本火災学会論文集」を 3 号刊行した。

f. 普及委員会

- イ) 火災科学セミナーを計画、立案、準備、開催した。なお、参加者の登録、参加証並びに領収書の発行等をオンライン化した。
- ロ) 火災科学セミナーの参加者増加に向け、協力機関である千葉市消防局及び名古屋市消防局を中心に地域の防火防災組織等へ火災科学セミナー開催の周知を行った。
- ハ) 火災科学セミナーのテキストを電子テキスト化し、参加者にダウンロードリンクを案内する形式で実施した。並行して、冊子テキストを所要数作成し希望者に頒布した。

6) 許可,認可,承認,証明等に関する事項

本年度なし

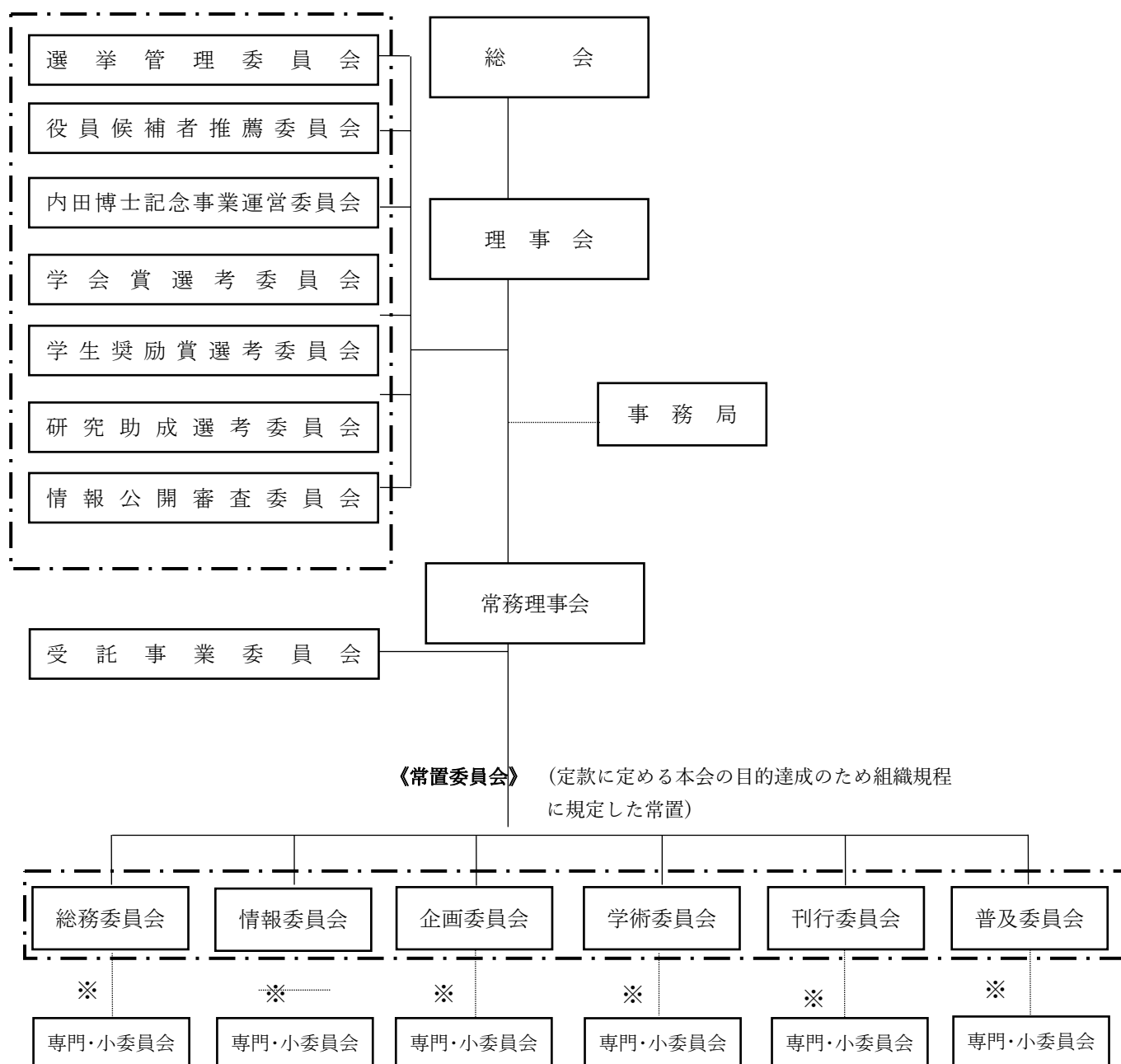
7) 寄付金に関する事項

- ・公益財団法人 セコム科学技術振興財団より、2025 年度研究発表会開催への助成として、2025 年 3 月 28 日に令和 6 年度学術集会および科学技術振興事業助成金（44 万円）を受領した。
- ・大幸財団より、2025 年度研究発表会開催への助成として、2025 年 4 月 17 日に学会等開催助成金（20 万円）を受領した。
- ・豊橋観光コンペティション協会より、2025 年度研究発表会開催への助成として、2024 年 12 月 18 日にコンベンション開催助成金（10 万円）を、2025 年 5 月

23日にシャトルバス助成金（10万円）を受領した。

8) 組織に関する事項

《その他の委員会》（組織規程で規定し設置）



○ホームページ管理運営
小委員会

○化学火災専門委員会
○新燃料・電動モビリティ火災専門委員会
○地震火災専門委員会
○避難行動専門委員会
○火災ガス毒性調査専門委員会
○消火戦略に関する専門委員会
○文化財建造物防災専門委員会

○火災誌編集小委員会
○論文集編集小委員会

※(専門小委員会は必要に応じて設置・廃止)

以上

2025 年度収支決算報告書

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月31日

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 正味財産増減計算書内訳表
4. 財務諸表に対する注記
5. 附属明細書
6. 財産目録

公益社団法人 日本火災学会

貸借対照表

2026年 3月31日現在

公益社団法人日本火災学会

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,095,882	7,444,570	651,312
現 金	12,767	115,808	103,041
普 通 預 金	7,684,798	6,842,391	842,407
郵 便 振 替 貯 金	398,317	486,371	88,054
未 収 会 費	566,000	786,000	220,000
前 払 費 用	0	48,800	48,800
流動資産合計	8,661,882	8,279,370	382,512
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	725,548	1,204,773	479,225
内 田 博 士 記 念 事 業 資 産	59,590,000	60,530,000	940,000
調 査 研 究 引 当 資 産	501,491	500,865	626
事 務 局 整 備 積 立 資 産	11,293,403	11,292,373	1,030
A O S F S T 実 行 委 員 会 積 立 預 金	2,506,692	2,501,537	5,155
特定資産合計	74,617,134	76,029,548	1,412,414
(3) その他固定資産			
保 証 金	414,000	414,000	0
その他固定資産合計	414,000	414,000	0
固定資産合計	75,031,134	76,443,548	1,412,414
資産合計	83,693,016	84,722,918	1,029,902
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	590,524	588,396	2,128
前 受 金	0	72,000	72,000
前 受 会 費	0	200,000	200,000
預 り 金	33,576	47,627	14,051
賞 与 引 当 金	210,000	210,000	0
未 払 消 費 税 等	120,200	111,400	8,800
流動負債合計	954,300	1,229,423	275,123
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	723,783	1,204,773	480,990
固定負債合計	723,783	1,204,773	480,990
負債合計	1,678,083	2,434,196	756,113
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	62,096,692	63,031,537	934,845
指定正味財産合計	62,096,692	63,031,537	934,845
(うち特定資産への充当額)	(62,096,692)	(63,031,537)	(934,845)
2. 一般正味財産	19,918,241	19,257,185	661,056
(うち特定資産への充当額)	(11,794,894)	(11,793,238)	(1,656)
正味財産合計	82,014,933	82,288,722	273,789

科 目	当年度	前年度	増 減
負債及び正味財産合計	83,693,016	84,722,918	1,029,902

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

公益社団法人日本火災学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特 定 資 産 運 用 益	[185,939]	[118,392]	[67,547]
特 定 資 産 受 取 利 息	185,939	118,392	67,547
受 取 会 費	[15,348,000]	[15,910,000]	[562,000]
正 会 員 受 取 会 費	8,148,000	8,590,000	442,000
賛 助 会 員 受 取 会 費	7,200,000	7,320,000	120,000
事 業 収 益	[6,612,975]	[5,373,812]	[1,239,163]
研 究 発 表 ・ セ ミ ナ ー ・ 講 演 事 業 収 益	(5,917,010)	(4,423,510)	(1,493,500)
研 究 発 表 会 収 益	4,006,190	2,706,000	1,300,190
セ ミ ナ ー 収 益	1,470,820	1,605,510	134,690
講 演 事 業 収 益	440,000	112,000	328,000
図 書 配 布 金 収 益	695,965	950,302	254,337
受 取 寄 付 金	[1,740,000]	[2,100,000]	[360,000]
受 取 寄 付 金	800,000	440,000	360,000
受 取 寄 付 金 振 替 額	940,000	1,660,000	720,000
雑 収 益	[17,476]	[759,003]	[741,527]
受 取 利 息	15,464	4,296	11,168
雑 収 益	2,012	754,707	752,695
経常収益計	23,904,390	24,261,207	356,817
(2) 経常費用			
事 業 費	[21,472,263]	[21,350,065]	[122,198]
給 料 手 当	4,546,108	4,627,750	81,642
臨 時 雇 賃 金	568,500	412,200	156,300
退 職 給 付 費 用	0	160,465	160,465
法 定 福 利 費	629,275	560,674	68,601
福 利 厚 生 費	2,800	2,800	0
会 議 費	(1,167,945)	(708,309)	(459,636)
店 内 飲 食 1 0 %	958,977	490,628	468,349
お 茶 お 弁 当 8 %	208,968	213,498	4,530
旅 費 交 通 費	1,383,670	630,431	753,239
通 信 運 搬 費	1,378,141	2,163,320	785,179
消 耗 品 費	85,155	134,430	49,275
印 刷 製 本 費	4,774,000	5,068,127	294,127
賃 借 料	2,346,081	2,541,464	195,383
諸 謝 金	1,265,416	1,647,667	382,251
租 税 公 課	120,200	111,600	8,600
支 払 負 担 金	35,000	35,000	0
支 払 助 成 金	200,467	200,467	0
委 託 費	1,644,456	892,760	751,696
雑 費	1,325,049	1,452,601	127,552
管 理 費	[1,771,071]	[1,879,785]	[108,714]

科 目	当年度	前年度	増 減
給 料 手 当	854,000	896,000	42,000
退 職 給 付 費 用	0	40,117	40,117
法 定 福 利 費	157,318	140,168	17,150
福 利 厚 生 費	700	700	0
会 議 費	(5,520)	(4,093)	(1,427)
店 内 飲 食 1 0 %	5,520	3,482	2,038
お 茶 お 弁 当 8 %	0	611	611
旅 費 交 通 費	36,842	0	36,842
通 信 運 搬 費	93,995	135,405	41,410
賃 借 料	430,036	494,560	64,524
諸 謝 金	136,840	126,720	10,120
租 税 公 課	104	8,550	8,446
雑 費	55,716	33,472	22,244
経常費用計	23,243,334	23,229,850	13,484
評価損益等調整前当期経常増減額	661,056	1,031,357	370,301
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	661,056	1,031,357	370,301
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	661,056	1,031,357	370,301
一般正味財産期首残高	19,257,185	18,225,828	1,031,357
一般正味財産期末残高	19,918,241	19,257,185	661,056
指定正味財産増減の部			
特 定 資 産 運 用 益	[5,155]	[1,363]	[3,792]
特 定 資 産 受 取 利 息	5,155	1,363	3,792
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[940,000]	[1,660,000]	[720,000]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	(940,000)	(1,660,000)	(720,000)
寄 付 金	940,000	1,660,000	720,000
当期指定正味財産増減額	934,845	1,658,637	723,792
指定正味財産期首残高	63,031,537	64,690,174	1,658,637
指定正味財産期末残高	62,096,692	63,031,537	934,845
正味財産期末残高	82,014,933	82,288,722	273,789

正味財産増減計算書内訳表

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

公益社団法人日本火災学会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特 定 資 産 運 用 益	[183,144]	[2,795]		[185,939]
特 定 資 産 受 取 利 息	183,144	2,795		185,939
受 取 会 費	[11,274,000]	[4,074,000]		[15,348,000]
正 会 員 受 取 会 費	4,074,000	4,074,000		8,148,000
賛 助 会 員 受 取 会 費	7,200,000	0		7,200,000
事 業 収 益	[6,612,975]	[0]		[6,612,975]
研 究 発 表 ・ セ ミ ナ ー ・ 講 演 事 業 収 益	(5,917,010)	(0)		(5,917,010)
研 究 発 表 会 収 益	4,006,190	0		4,006,190
セ ミ ナ ー 収 益	1,470,820	0		1,470,820
講 演 事 業 収 益	440,000	0		440,000
図 書 配 布 金 収 益	695,965	0		695,965
受 取 寄 付 金	[1,740,000]	[0]		[1,740,000]
受 取 寄 付 金	800,000	0		800,000
受 取 寄 付 金 振 替 額	940,000	0		940,000
雑 収 益	[5,584]	[11,892]		[17,476]
受 取 利 息	3,572	11,892		15,464
雑 収 益	2,012	0		2,012
経常収益計	19,815,703	4,088,687		23,904,390
(2) 経常費用				
事 業 費	[21,472,263]	[0]		[21,472,263]
給 料 手 当	4,546,108	0		4,546,108
臨 時 雇 賃 金	568,500	0		568,500
法 定 福 利 費	629,275	0		629,275
福 利 厚 生 費	2,800	0		2,800
会 議 費	(1,167,945)	(0)		(1,167,945)
店 内 飲 食 1 0 %	958,977	0		958,977
お 茶 お 弁 当 8 %	208,968	0		208,968
旅 費 交 通 費	1,383,670	0		1,383,670
通 信 運 搬 費	1,378,141	0		1,378,141
消 耗 品 費	85,155	0		85,155
印 刷 製 本 費	4,774,000	0		4,774,000
賃 借 料	2,346,081	0		2,346,081
諸 謝 金	1,265,416	0		1,265,416
租 税 公 課	120,200	0		120,200
支 払 負 担 金	35,000	0		35,000
支 払 助 成 金	200,467	0		200,467
委 託 費	1,644,456	0		1,644,456
雑 費	1,325,049	0		1,325,049
管 理 費	[0]	[1,771,071]		[1,771,071]
給 料 手 当	0	854,000		854,000
法 定 福 利 費	0	157,318		157,318
福 利 厚 生 費	0	700		700
会 議 費	(0)	(5,520)		(5,520)
店 内 飲 食 1 0 %	0	5,520		5,520
旅 費 交 通 費	0	36,842		36,842
通 信 運 搬 費	0	93,995		93,995
賃 借 料	0	430,036		430,036
諸 謝 金	0	136,840		136,840
租 税 公 課	0	104		104
雑 費	0	55,716		55,716
経常費用計	21,472,263	1,771,071		23,243,334
評価損益等調整前当期経常増減額	1,656,560	2,317,616		661,056
評価損益等計	0	0		0

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
当期経常増減額	1,656,560	2,317,616		661,056
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,656,560	2,317,616		661,056
当期一般正味財産増減額	1,656,560	2,317,616		661,056
一般正味財産期首残高	39,498,693	58,755,878		19,257,185
一般正味財産期末残高	41,155,253	61,073,494		19,918,241
指定正味財産増減の部				
特 定 資 産 運 用 益	[5,155]	[0]		[5,155]
特 定 資 産 受 取 利 息	5,155	0		5,155
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[940,000]	[0]		[940,000]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	(940,000)	(0)		(940,000)
寄 付 金	940,000	0		940,000
当期指定正味財産増減額	934,845	0		934,845
指定正味財産期首残高	63,031,537	0		63,031,537
指定正味財産期末残高	62,096,692	0		62,096,692
正味財産期末残高	20,941,439	61,073,494		82,014,933

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券として取得原価により計上している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却は、定額法を採用している。
- (3) 引当金の計上基準
職員の賞与手当てについて、当期の負担分を見積計上している。
職員の退職給付債務について、期末要支給額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
税込処理

2. 会計方針の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備 考
特定資産					
退職給付引当資産	1,204,773	1,765	480,990	725,548	
内田博士記念事業資産	60,530,000	0	940,000	59,590,000	
調査研究引当資産	500,865	626	0	501,491	
事務局整備積立資産	11,292,373	1,030	0	11,293,403	
AOSFST実行委員会積立預金	2,501,537	5,155	0	2,506,692	
合 計	76,029,548	8,576	1,420,990	74,617,134	

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)	備 考
特定資産					
退職給付引当資産	725,548	0	0	-725,548	
内田博士記念事業資産	59,590,000	-59,590,000	0	0	
調査研究引当資産	501,491	0	-501,491	0	
事務局整備積立資産	11,293,403	0	-11,293,403	0	
AOSFST実行委員会積立預金	2,506,692	-2,506,692	0	0	
合 計	74,617,134	-62,096,692	-11,794,894	-725,548	

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

なし

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

なし

8. 保障債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種 類	帳簿価額	時 価	評価損益	備 考
公社債投信(みずほ証券)	29,590,000	29,687,647	97,647	
利付国庫債券(みずほ証券)	30,000,000	24,804,000	-5,196,000	
公社債投信(大和証券)	10,792,090	9,972,194	-819,896	
合 計	70,382,090	64,463,841	-5,918,249	

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

なし

11. 基金及び代替基金の増減額及び残高

なし

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額(内田博士記念事業資産取崩額)	940,000
合 計	940,000

13. 資金調達及び設備投資の見込みについて

なし

14. 関連当事者との取引の内容

なし

15. 重要な後発事象

なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	210,000	210,000	210,000	0	210,000
退職給付引当金	1,204,773	1,765	480,990	0	725,548

財産目録

2026年 3月31日現在

公益社団法人日本火災学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	12,767
	預金	普通預金		7,684,798
		みずほ普通預金・法人会計	運転資金として	2,957,154
		みずほ普通預金・内田基金	公益事業推進資金として	1,977,299
		住信SBIネット	運転資金として	2,750,345
		郵便振替貯金	運転資金として	398,317
	未収会費		受取会費の未収分	566,000
流動資産合計				8,661,882
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	普通預金	職員の退職給付に充てるため、引当ている。	725,548
		みずほ銀行本郷支店		
	退職給付引当資産(他)			725,548
	内田博士記念事業資産	公社債	公益目的保有財産であり、研究、表彰等の事業に使用するため寄付を受け保有する資産である。	59,590,000
		みずほ証券新宿支店		
	積立預金(指定)			59,590,000
	調査研究引当資産	貸付信託	火災に関する調査研究事業の資産である。	501,491
		三井住友信託銀行 上野支店		
	積立預金(一般)			501,491
	事務局整備積立資産	公社債投信	事務局整備のための資産である。	11,293,403
		大和証券 本店		
	積立預金(一般)			11,293,403
	AOSFST実行委員会積立預金	普通預金	国際火災シンポジウム国内招致のための資産である。	2,506,692
		みずほ銀行本郷支店		
	積立預金(指定)			2,506,692
その他固定資産				
	保証金	イースタン・リアル・エステイト(株)	事務室の保証金である。	414,000
固定資産合計				75,031,134
資産合計				83,693,016
(流動負債)	未払金			590,524
	事業委員会委員未払金		理事会、委員会等の交通費の未払金	547,796
	社会保険料未払金		職員の社会保険料の事業所負担分	42,728
	預り金		納付又は納税	33,576
	給料・源泉所得税		職員の給料に対する源泉徴収預り金	18,876
	預り金			

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
	報酬料金・源泉所得税預り金		報酬料金に対する源泉所得税預り金	14,700
	賞与引当金			210,000
	未払消費税等		2025年度消費税納付税額	120,200
流動負債合計				954,300
(固定負債)	退職給付引当金	普通預金	職員の退職給付に充てるため引当ている。	723,783
固定負債合計				723,783
負債合計				1,678,083
正味財産				82,014,933

監査報告書

2026 年 4 月 17 日

公益社団法人 日本火災学会
会長 萩原 一郎 様

公益社団法人 日本火災学会

監事 江幡 弘道



監事 山田 常規



監事 吉野 徹



私たち監事は、2025(令和7)年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)における事業報告等、財務諸表等及び理事の職務執行状況の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び学会事務局及び関係者等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び学会事務局及び関係者等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等(事業報告及びその附属明細書)について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等(貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書、財産目録)について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等(事業報告及びその附属明細書)は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財務諸表等(貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書、財産目録)は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

2026 年度事業計画書

公益社団法人 日本火災学会

火災に関する科学および技術の研究について、その促進および交流をはかるため、2026 年度は以下の方針に基づき各種の事業を行う。

財務状況を改善し安定的な事業運営を実現するため、情報化による事務の効率化等により、諸経費の節減を図るとともに、会員サービスの向上を行う。また、学術の振興を図り、火災による被害の軽減を目指す活動を推進する。

(1) 研究発表会、講演会、セミナー

1) 研究発表会

火災に関わる幅広い分野にわたる研究成果の発表・討論する研究発表会を開催する。

開催日時：2026 年 5 月 30 日（土）、31 日（日）

開催場所：千葉大学西千葉キャンパス（〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33）

2) 講演討論会

社会の関心の高いテーマについて、講演及び討論を行う講演討論会を開催する。

オンライン開催（予定）

3) 火災科学セミナー

広く社会に対して、火災に関する知識・技術などを普及するセミナーを開催する。

東日本会場（さいたま市）、中部・西日本会場（大阪市）の2か所で実施予定。

(2) 火災に関する調査および研究

学術委員会の下に7つの専門委員会を設置し活動を行うとともに、必要に応じてシンポジウムを開催する。

また、火災に係る調査研究依頼に基づく受託事業及び補助金事業を推進する。

(3) 会誌その他火災に関する図書の刊行

1) 学会誌「火災」

火災に関する科学上、技術上の新たな知見や情報、重要な事例及び調査結果、実験的・解析的研究などを広く会員に公表するため、会誌「火災」を年6回発行する。

2) 論文集

火災に関する論文、ノート、火災に関する総説などをオンラインジャーナルとして公開する。

(4) 優れた研究または技術業績に対する表彰

以下の各賞について表彰を行う。

1) 日本火災学会賞 火災科学・技術に優れた業績を挙げた研究・技術者を顕彰する。

2) 日本火災学会内田奨励賞 独創性と将来性に富む新進の研究者を顕彰する。

3) 日本火災学会功労賞 当会の運営、会務などに顕著な功労があった会員を顕彰する。

4) 日本火災学会学生奨励賞 若手研究者の育成を目指し、優秀な研究発表を行った学生を顕彰する。

5) 日本火災学会技術賞 近年適用された優れた技術の確立に貢献した者を顕彰する。

6) 日本火災学会業績賞 火災安全の進展や普及に大きく貢献する近年の活動を実施した者を顕彰する。

(5) 研究助成

優れた火災科学・技術の研究の促進を図るため、研究助成金を交付する。

(6) 内外の関係機関等との連携および協力

一般社団法人防災学術連携体に参加し、火災・避難安全対策面からの提言について検討を進める。SFPE（防火技術者協会）日本支部と協賛し、シンポジウムなどを通じて、諸外国の防火技術者との国際交流を図る。安全工学シンポジウム、燃焼シンポジウムなど、当会の目的に沿った事業を行う機関等と協力する。

また、国際的なプレゼンスを高めるため、国際シンポジウムの誘致を検討する。
韓国火災消防学会と火災安全に係わる情報交流を推進する。

(7) その他この法人目的を達成するために必要な事業

ホームページを通じた情報発信を進める。特に、大規模災害等の発生時には、本会の専門性を生かし、社会の福祉に寄与する情報発信を行う。

その他、定款の目的を達成するために必要な上記以外の事業を行う。

以上

収支予算書内訳表

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

公益社団法人日本火災学会

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	135,000	0	135,000
特定資産受取利息	15,000	0	15,000
特定資産受取配当金	120,000	0	120,000
受取会費	11,660,000	4,400,000	16,060,000
正会員受取会費	4,400,000	4,400,000	8,800,000
賛助会員受取会費	7,260,000	0	7,260,000
事業収益	5,548,000	0	5,548,000
研究発表・セミナー・講演事業収益	4,932,000	0	4,932,000
研究発表会収益	2,982,000	0	2,982,000
セミナー収益	1,500,000	0	1,500,000
講演事業収益	450,000	0	450,000
図書配布金収益	616,000	0	616,000
受取寄付金	2,542,000	0	2,542,000
受取寄付金	400,000	0	400,000
受取寄付金振替額	2,142,000	0	2,142,000
雑収益	7,900	0	7,900
受取利息	6,900	0	6,900
雑収益	1,000	0	1,000
経常収益計	19,892,900	4,400,000	24,292,900
(2) 経常費用			
事業費	21,144,000	0	21,144,000
給料手当	4,530,000	0	4,530,000
臨時雇賃金	339,000	0	339,000
法定福利費	574,000	0	574,000
福利厚生費	3,000	0	3,000
会議費	676,000	0	676,000
店内飲食10%	676,000	0	676,000
旅費交通費	1,295,000	0	1,295,000
通信運搬費	924,000	0	924,000
消耗品費	70,000	0	70,000
修繕費	10,000	0	10,000
印刷製本費	3,915,000	0	3,915,000
光熱水料費	5,000	0	5,000
賃借料	1,809,000	0	1,809,000
諸謝金	1,147,000	0	1,147,000
租税公課	246,000	0	246,000
支払負担金	29,000	0	29,000
支払助成金	2,142,000	0	2,142,000
委託費	1,645,000	0	1,645,000
雑費	1,785,000	0	1,785,000
管理費	0	2,811,000	2,811,000
給料手当	0	994,000	994,000
法定福利費	0	126,000	126,000
福利厚生費	0	1,000	1,000
会議費	0	211,000	211,000
店内飲食10%	0	211,000	211,000
旅費交通費	0	246,000	246,000
通信運搬費	0	266,000	266,000
消耗品費	0	15,000	15,000
光熱水料費	0	5,000	5,000
賃借料	0	397,000	397,000
諸謝金	0	252,000	252,000
租税公課	0	54,000	54,000
雑費	0	244,000	244,000
経常費用計	21,144,000	2,811,000	23,955,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,251,100	1,589,000	337,900
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,251,100	1,589,000	337,900
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,251,100	1,589,000	337,900
当期一般正味財産増減額	△ 1,251,100	1,589,000	337,900
一般正味財産期首残高	△ 42,791,853	61,184,038	18,392,185
一般正味財産期末残高	△ 44,042,953	62,773,038	18,730,085
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 2,142,000	0	△ 2,142,000
一般正味財産への振替額	△ 2,142,000	0	△ 2,142,000
寄付金	△ 2,142,000	0	△ 2,142,000
当期指定正味財産増減額	△ 2,142,000	0	△ 2,142,000
指定正味財産期首残高	60,991,537	0	60,991,537
指定正味財産期末残高	58,849,537	0	58,849,537
III 正味財産期末残高	14,806,584	62,773,038	77,579,622

2026年 3月24日 08:32:18

2026年5月27日
公益社団法人日本火災学会
学会賞選考委員会
技術賞および業績賞選考委員会
委員長 鈴木正太郎

日本火災学会賞・内田奨励賞・技術賞・業績賞の報告

このことについて、下記の者を選定した。

記

1. 日本火災学会賞 (1 名)

氏名 佐野 友紀 (正会員)
所属 早稲田大学人間科学学術院
対象業績 実測調査に基づく災害時要援護者を含む避難行動モデルおよびシミュレーションを用いた避難安全に関する一連の研究

2. 内田奨励賞 (3 名)

氏名 小宮 祐人 (正会員)
所属 (一財)日本建築総合試験所 耐火部 耐火構造試験室
対象業績 壁面内装の表面材厚さと下地材が着火性・発熱性・燃え広がり性および室の燃焼拡大性状に及ぼす影響に関する研究

氏名 藤井 皓介 (正会員)
所属 総務省消防庁消防大学校消防研究センター
対象業績 大規模施設の避難安全に関する実証的研究

氏名 山崎 拓也 (正会員)
所属 弘前大学大学院 理工学研究科
対象業績 木質繊維/プラスチック複合材料の熱分解特性が燃焼挙動に及ぼす影響

3. 技術賞 (2 件)

氏 名	所 属
西川 厚	横浜市消防局 (非会員)
雨宮 智浩	東京大学 (非会員)
大宮 喜文	東京理科大学 (正会員)
石川 大樹	株式会社理経 (非会員)
対象業績	消防隊員の教育訓練に特化した VR 消防教育訓練シミュレーションシステム

氏 名	所 属
楡木 孝史	能美防災株式会社 (非会員)
飯野 浩輔	能美防災株式会社 (非会員)
横田 博之	能美防災株式会社 (非会員)
嶋田 知弘	能美防災株式会社 (非会員)
対象業績	ドローンを活用した煙感知器の加煙試験器

以上